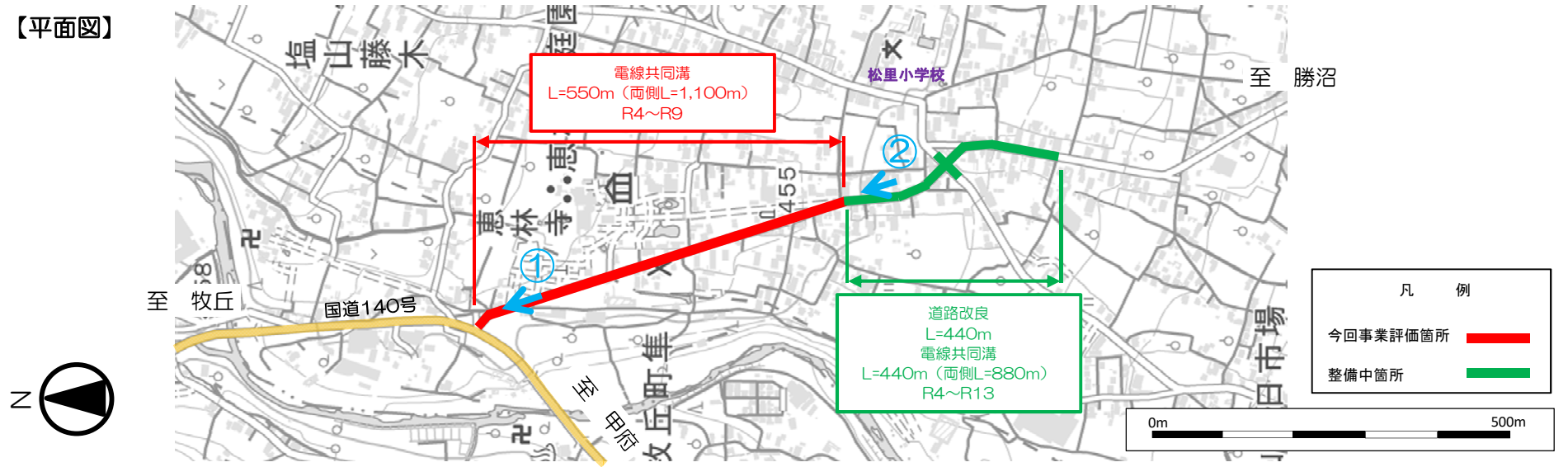


1. 事業説明シート

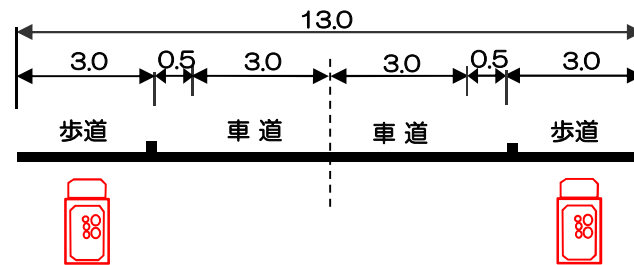
事業名	事業箇所	地区名	(主) 塩山勝沼線(塩山小屋敷工区)	事業主体	山梨県
<p><b>(1) 事業の概要</b></p> <p>①課題・背景                      主要地方道塩山勝沼線は、甲州市塩山小屋敷を起点とし、甲州市勝沼町勝沼を終点とする主要な幹線道路である。                      本事業区間は、沿道に電柱が立ち並んでおり、災害発生時に倒壊した場合、緊急車両等の通行の支障となる恐れがある。                      このため、電線共同溝を整備することにより、災害時の通行確保や歩行者等の安全で快適な通行空間の確保を図るものである。                      また、当該箇所は、県内有数の史跡である恵林寺を始め、様々な神社仏閣が点在する歴史的風致に恵まれた地域にあり、景観の向上にも寄与するものである。</p> <p>②整備目標・効果                      □主要目標 ○都市災害防止                      緊急輸送路の指定 無                      自動車交通量 5,191台/12h(H27㍻) &gt; 3,428台/12h(平日)以上※                      他事業との連携 有 ※評価基準値                      □副次目標 ○歩行者等の安全性の確保                      歩行者・自転車交通量 60人台/12h(H27㍻) &lt; 93人台/12h以上※                      自動車交通量 5,191台/12h(H27㍻) &gt; 3,428台/12h(平日)以上※                      通学路の指定 指定あり(松里小学校)                      現況の歩道幅員 3.0m &gt; 1.4m未満※ ※評価基準値                      □副次効果 ○ライフラインの強化(電線、通信回線)                      ○文化・歴史的資源等の保存(重要文化財)</p>					
<p><b>(2) 整備内容</b></p> <p>①整備内容 電線共同溝 L=550m(両側L=1,100m)                      ②着手年度 令和4年度                      ③完成見込年度 令和10年度                      ④総事業費 約500百万円(国費275百万円(5.5/10)県費225百万円(4.5/10))                      ⑤年度別の整備内容 (事業費)                      令和4~5年度 詳細設計 20 百万円                      令和5~10年度 電線共同溝工事、連系・引き込み 480 百万円                      ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費                      R4~R13 (主) 塩山勝沼線(三日市場工区) 道路改良 L=440m 事業費 約780百万円                      R4~R13 (主) 塩山勝沼線(三日市場工区) 電線共同溝 L=440m(両側880m) 事業費 400百万円</p>					
<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b></p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      電線共同溝の整備等に関する特別措置法第5条により、道路管理者が電線類を地中に収容する管路部分を建設することとなっているため、県が行うべき事業である。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      電線共同溝整備事業であり、費用便益の算出規定がないため不算出</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      史跡に隣接する区間であり、効果的な事業規模である。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      低コストな電線共同溝方式を採用することで事業費が最も経済的な計画としている。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      電線類地中化による環境への負荷はない。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない                      第7期無電柱化推進計画における事業箇所として、電線管理者と協議が行われており熟度が高い。</p> <p style="text-align: center;">総合評価 <span style="float: right;">[貢献度ランク:b]</span></p>					
<p><b>(4) 事業位置図等</b></p> <p>凡例                      今回事業評価箇所 (Red line)                      整備中箇所 (Green line)</p>					

## 2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】 災害時に倒壊の恐れのある電柱



【写真②】 災害時に倒壊の恐れのある電柱

